

は じ め に

「ジャネの法則」をご存じでしょうか。

「歳を取ると1年が過ぎるのが早い」、こんな実感を説明しようというのがジャネの法則です。「時間の心理的長さは年齢に反比例する」という説で、例えば、

10歳にとっての1年間は人生の10分の1、

50歳にとっての1年間は人生の50分の1、

となり、歩んできた人生の長さの中で、歳を取るほど相対的に1年が短く感じられるということです。

昨年度はびわ湖ホール開館25周年という節目の年で、これまでの歩みを振り返る機会が多くありました。特に開館当時の記録などに接していますと、最高水準の劇場で最高水準の舞台芸術を創造する、同時に次世代を含め広く観客層を開拓する、その高い志を着実に具体化していこうという躍動にあふれ、劇場サポーターの皆さんはじめ関係者の苦労と熱意がよく分かります。

その後の25年の歩みの中でびわ湖ホールは着実に成長し、愛され、評価され、数々の栄誉ある賞も頂いてきました。輝かしい歴史を誇りに思い、これをお支えいただいた劇場サポーターの皆様に深く感謝申し上げる一方、草創期の濃密な1年に対し、今の1年が、25分の1の1年になっていやしまいかという不安も禁じ得ません。

25周年の節目を終え、近い将来には大規模改修による長期休館という大きな試練も見込まれている中、第二創業を成し遂げるほどの覚悟を迫られているのかもしれない。惰性に流されていないか、時代の変化に適応できているか、チャレンジ精神の火は消えていないかといった自問を課し、生まれ変わるつもりで、1分の1の1年を大切にしながら、新たな歴史を築いていかなければならないと思いを新たにしております。

劇場サポーターの皆様におかれましても、将来ますますのびわ湖ホール発展に向け引き続きお力添えを賜り、ご提案、ご助言など忌憚なくお申し付けくださいますよう改めてお願いいたします。

令和6年4月

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
館 長 村 田 和 彦



♪ ♪ ♫ ♪ ♫ ♪ ♫ 目 次 ♪ ♫ ♪ ♫ ♪ ♫

びわ湖ホール劇場サポーター活動報告	1
2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要	10
2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要	12
2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱	13
2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳	14
2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」活動の様子	15

びわ湖ホール劇場サポーター 活動報告

期別（順不同）

文責：びわ湖ホール劇場サポーター

(タイトル) 活動報告3年目を終えて (第26期) (氏名) 伊東 正邦

活動の成果は、①『フィガロの結婚』『ばらの騎士』の予習と公演鑑賞、
②特別講座における栗原未和さん植松さやかさんとの協演ユウホ、
③ハルモニアのコンテンツ企画と編集活動、④『びわ湖の春 音楽祭』の
広報活動(ポスターを町内自治会の掲示板に掲示)など。
充実した3年目を送ることができました。
今後も更なる活動の場を広げることができればと思います。

(タイトル) クラシ配りがんばりました。 (第26期) (氏名) 今久保 智子

今年度も 毎月30部のクラシ配りがんばりました。
楽しみにしてくださる方も増えて、音楽の話題で会話が
盛り上がります。今年は クラシをお渡しした方が、サポ
ーターになっただけでした。やりがいを感じています。

(タイトル) 私にとってのオペラ鑑賞元年 (第26期) (氏名) 沖野 良枝

いつの間にか、びわ湖ホールサポーターも3年目を終えてしまいました。1, 2年目に受講した各種セミナーや基礎講座等により、それ迄、全く知識や関心を持たなかったオペラが意味する人間理解や、歴史・文化、政治的背景を知り、特にワグナーの思想、哲学や行動に興味を抱きました。そこで、3年目は、「各種講座やセミナーを積極的に受講し、自分レベルの学びを深める」と目標設定し、オペラ講座の受講、実際のオペラ鑑賞に力を入れました。「ローエングリン」、「ファルスタット」、「ニュルンベルグのマイスタージンガー」、「フィガロの結婚」、「天国と地獄」、「ばらの騎士」等、21, 22 年上演作も含めて再現芸術、総合芸術としてのオペラを観劇し、その感性、文化性や思想性の奥深さについて学びや理解を深めました。未だに交響詩と歌劇の違いも良く解らない私ですが、ホールの下での3年目は私にとって「オペラ鑑賞元年」となる記念すべき年となりました。

(タイトル) 大好きな びわ湖ホール (第26期) (氏名) 小野 悦子

今年度はサポーターの行事には 何れも参加できませんでした。アマオケや合唱団の仲間、その他友人たちには、びわ湖ホールのすばらしさを宣伝してまいりました。3月の「びわ湖の騎士」は本当にすばらしかった！ コロナも落ち着き、これからますます公演が増えることを期待しています。特にオペラがたのしみです。

3期目を振り返って

第26期 寺尾 宣子

今期のびわ湖ホールは漸く息を吹き返したように、全てが活気づいているように感じられました。それとも私がホールに足を運ぶ度合いが多くなったからでしょうか。

前期秋、びわ湖声楽アンサンブル公演 フォーレ・レクイエムの美しく整った声に出会い、アンサンブルの皆様が出演の演目、関連性のある講座などを中心に参加しました。

その中でホールのスケジュールをこなしながら、オペラ歌手として切磋琢磨されている姿を垣間見ることにより、オペラ鑑賞の楽しさにつながり又びわ湖ホールの大切な使命が少し理解できたような気がいたしました。

PR活動は一年を通じて医療機関に（張り紙を付けて）Stageを置かせてもらっています。

(タイトル) 3年目の活動と終えて

(第26期)

(氏名) 橋本 博子

今年度は都合が合わず サポーター活動のせっかくの機会に参加できないことも多かったのが残念でした。よかったのはサポート会員として1月のコンサート（ピアノ・ストーリー：シュマンとブラームス）のチケットと3枚いただい。誘った2人の友人がびわ湖ホールのファンになってくれたことでした。2人とも音楽好きの京都の方ですが、びわ湖ホールは遠いと思われていたようです。次年度もホールのよいところを伝えていきたいです。

(タイトル) 令和5年度活動報告 (第26期) (氏名) 橋山 叔本

コロナ禍が落ち着いた、忙しさがサロンの集いに参加出来る事を増え申し分ないです。
しかし、今後都合がつく限りは出席したいと思っています。

広報物は主に大阪交響楽団に付属する大阪響フォーラムのメンバーに配っています。
本拠地の堺市から大阪市内や他県から来ているメンバーも多く、手付楽団(大響)が
関わっている公演もあるので非常に喜ばれています。昨シーズンのフカダの結婚やバウリング
にも遠くから観に来てくれました。これからむね湖ホールでの公演を申し込むので
良い公演も引き続きお楽しみします。

(タイトル) 令和5年度 活動報告 (第26期) (氏名) 山本 直子

活動3年目になりましたが、なかなか目に見えての成果は出ていません。
仕事が忙しかったこともあり、コンサートなど公演を鑑賞する機会はあ
まりありませんでした。

講習会には都合のつく限り極力参加し、特に今年度はサロンや懇親会な
どサポーターの皆様と交流する機会を多く持つことができました。

また、第29期の劇場サポーター勧誘に努め、1名ご加入いただくことが
できました。

(タイトル) いつもありがとうございます♡ (第27期) (氏名) 阿部 ちよ

今年は仕事の都合で「ハルモニアのお手伝い」ができず、メンバーには多大なご迷惑をおかけしました。
むね湖ホールでの公演は、大好きな『フカダ』や『ぼらめ騎士』など集まらせて頂きたい。
一番の経験は、シルヴェスタに出させて頂き、大川先生の温かいご指導を受ける
ことができ、大変お世話になりました、ありがとうございます。

益々オヤマガ好きになり、下手の才好きで「すか」、今後共にご指導のほど、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

(タイトル) 思うように活動できていませんが (第27期) (氏名) 岩井 香里
劇場サポーターになってから、色々な講座やオペラ等の鑑賞で感動したことを、知人にお知らせしています。

ご夫婦で、サポーターになりたいと、おっしゃる友人は、ご主人の痛気で次年度にしまあとのことでした。春の音楽祭は、お二人で来られます。

滋賀県に行くことが多く、レッスンの方は、コンサートに何度も足を運んでくださいました。

岡田晴生先生の講座のすばらしさを伝えた友人は、岡田先生の本と次々と読み、今後の講座に行きたいと言ってくれました。

(タイトル) 古典芸能から宇宙開発まで (第27期) (氏名) 老色克彦
昨年はバレエとオペラの講座に参加し、今年は古典芸能に参加しました。冒頭に、古典芸能は、幼少期の風景を懐しく思い起こし、日本人としてのアイデンティティを再認識するものである、という趣旨の説明がありました。まだ日本が貧しかった頃の遠い思い出に浸りつつ、講座を拝聴しました。後日、H3 ロケットの打ち上げ成功のニュースが流れ、改めて、日本人としてのアイデンティティを認識しました。講座のおかげで、音楽隊の編成等、舞台の様子もよく分かりました。

(タイトル) 令和5 (2023) 年度サポーター活動報告 (第27期) (氏名) 大崎良信

2023. 7.17 喜古恵理香指揮「アルルの女」
「ベートーベン交響曲第7番」鑑賞
7.22 東京二期会「椿姫」鑑賞
8.26 沼尻竜典指揮「マーラー交響曲第7番」鑑賞
8.27 青山登志和トライアングル講座オペラ編出席
10.21 小峰航一室内楽講座「なぜ弦楽四重奏でフーガの技法をとりあげるのか」出席
11.19 阪哲朗指揮「こうもり」鑑賞
2024. 1. 7 東条硯夫オペラ講座『ばらの騎士』初級編出席
3. 3 阪哲朗指揮「ばらの騎士」鑑賞
3.10 サポーターズサロン出席
全体会議出席

(活動)
・広報物のマンション掲示板への掲示と配布、知人や家族への配布
・ポスターの平和堂フレンドマート店舗掲示板への掲示依頼
・YouTubeやXへのコメント投稿、ハルモニアへの投稿
・チケットの知人への提供
(感想)
本年度を振り返ると、思いのほか、活動することができなかったという感想です。出席を予定していたいくつかの講座も、仕事の都合で、少々欠席させていただきました。
(抱負)
より多く、深く鑑賞して、オペラやクラシック音楽、びわ湖ホール感動を周囲に伝えたい。

(タイトル) 活動報告

(第27期)

(氏名) 岡部正宏

- ・びわ湖ホール劇場サポーターが企画・各種催しに積極的に参加。
- ・一部の催しには講師を務める。
- ・びわ湖ホール広報物の配布。特に目録にて定期的に開催しているオハラ講座参加者に配布。公演のPR、チケット購入を勧誘に努める。

(タイトル) 令和5年度活動報告

(第27期)

(氏名) 小林幹和

定例会を始め各種講座等も、できるだけ参加させていただき、いろいろな話が聞けて、びわ湖ホールさんとの関係が密になりました。

送っていただいた広報物は、関係している京都のよし笛の仲間20人弱に毎回披露しています。そのチラシを見て、何人かはびわ湖ホールのコンサートに足を運んでくれたようです。

サポーターになって2年目で、ようやく人生初めてオペラを鑑賞しました。本格的なオペラではなく、オペレッタ（天国と地獄）でしたが、思った以上に楽しくて感動しました。

事前に講演やKHPの見学の機会を設けていただいたことが、鑑賞時の大きな助けになりました。知り合いにもオペラの楽しさを紹介したいと思います。

(タイトル) 二重奏の効果？

(第27期)

(氏名) 武田亮己

音楽の楽しさと同時に、自分の好みも少し広がっていった。この「stage」を見せると、「こんな趣味があったの？」と言われ、私の新しい側面が発見されたことも、いざいざ。二重奏の音楽がもたらしてくれた効果かも、喜んでいます。人生のどこかでおきこんでくれた大切なものの出会いを喜んでいきます。

(タイトル) びわ湖ホール劇場サポーター活動報告 (第27期) (氏名) 段 浦 洋 子

今年度は 足を怪我して手術したり、再開し始めたらコロナ感染したりと引きこもり状態で、サポーター活動があまりできませんでした。

4月 トライアングル講座

5月 定例会 サポーターズサロン

10月 定例会 『コウモリ』レクチャー

12月『天国と地獄』KHP サポーターズサロン

1月『バラの騎士』オペラ講座 セミナー

3月 サポーターズサロン、全体会合

チラシは、習い事の教室においてもらいました。

「びわ湖の春 音楽祭 2024」のポスターは、パンフレットと一緒に、地域の公民館、

バレエとピアノ教室に掲示して貰いました（我が家の外壁にも）

来年度も、新しい発見、学び、出会いを楽しみに、出来ることを無理せずに続けていこうと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

(タイトル) 舞台芸術を楽しむ (第27期) (氏名) 増田 希世子

令和5年12月の「天国と地獄」に一般合唱団で参加させて頂くことで
今更「オペラ鑑い」ぶと誇っても 今更か 観て もらえやうたのですが
誇る本人が出たことで 何人も足を運んでくれて、「楽」から！ 鑑かいと
選んでくれた また 別のも観たくなって、興味を持ってもらえました。
知識も増える 舞台芸術を語って 誇ることは 無理でしたか
私自身も 他にも貴重で体験もでき、オペラ鑑いも少しだけ増えたことが
嬉しいです。そしてサポーターの方々と交流も楽しめた事もとてもよい体験でした。

(タイトル) 令和5年度 活動報告 (第27期) (氏名) 若里 桜子

サポーターになり、2年が経過しました。今年度は学業の関係もあり、研修会等には
あまり参加できない1年となってしまいました。しかし、芸術監督として阪さんが就任されたこと
もあり、新たなびわ湖ホールの公演にはなるべく足を運んでいました。
PR活動としては、大学内の舞芸芸術に興味のある学生に声をかけるなど、少しずつ行っていました。
来年度は、学生をまとめて一緒に公演を観覧に行けたらと思っています。
もちろん、交流や研修などにも積極的に参加し、もっとびわ湖ホールを知っていただけたら
よい、活動したいと思っています。 ようしくお願いいたします。

(タイトル) クラシックについて (第27期) (氏名) 舊 森 真理子

私がしている活動は、クラシックだけ。

皆さまクラシックを受け取って頂けませんか、なかなかコンサートに行くといい所までいきません。次回からは、京都のお友達に渡しにいかと思っています。

(タイトル) なるべく足を運びたい (第27期) (氏名) 和田 祐子

今期は入院を繰り返していたため、なかなかホールにも行けませんでした。年明けに放射線治療をしてからは少し調子が良くなったので、母と一緒に「野村万作・萬斎狂言公演」に行くことができました。楽しみにしていた公演だったので、観ることができて一際嬉しかったです。

これからも自分のペースで、びわ湖ホールと関わってみたいです。

(タイトル) 初心者マフサポーターの抱負 (第28期) (氏名) 脂津 里美

サポーターとして活動するためには、まず「自分が学び、そこから人に良さを伝えるべきだ」と思い、今年度は、講座・リハーサル見学聴取比べ等に参り、いろいろ勉強させて頂きました。

やはり、予備知識あるなしでは、実際コンサートを観た時の感じも以前とは違い、これから与える側として少しでもびわ湖ホールファンを増やすお役に立てる事かと思いた。

(タイトル) まず自分自身がFanに! (第28期) (氏名) スズキ 隆司

1年間のサポート活動やコンサートなどでホールへ通ったのは、20回を超えました。孫たちも「音楽会へ出かけよう」とびわ湖ホールデビュー。「翼をください」を大きな声で歌っていました。まず出かける事にしました。

月に1度の理髪店とたまに行く居酒屋にはStageとチラシが!!

(タイトル) ハルモニアグループとリクレーショングループ (第28期) (氏名) 荒川 崙也

ハルモニアに参加してみます感じたことは、まず編集会議の用語がよくわからず……! えらいところに入ってます! (あくまで個人のレベルであり、感想です) でも、発行の後等である懇親会が得意です。故に今は懇親会担当でがんばります。かけもちで参加しているリクレーショングループも、こんな性格ですから、けっこうおしゃべりかかっています。難しいことはよくわかりませんが、とにかく楽しみたいと思っています。こんな最初の1年でして! (笑)

(タイトル) 初めての1年 (第28期) (氏名) 谷垣 ありさ

サポーターとして初めての1年。参加できた定例会や講座でたくさん刺激を受け、芸術をより身近に感じられるようになったと思います。活動の成果が、たかはわかりませんが、個人としてSNSでの発信や地域へのチラシの掲示などを行いました。

今後も、自分自身が芸術を楽しみながら、周りにも伝えていけるよう活動したいです。

(タイトル) 2023年度活動報告

(第28期)

(氏名) 三浦 潔

- 1) 成果：いくつかの公演で県外の知人に来てもらうことができた。特に「ばらの騎士」には兵庫県から4名、名古屋から1名、首都圏から延べ10名が観劇に来津、全員満足して帰った。
- 2) 感想：①開館以来続いてきたプロデュースオペラは、びわ湖ホールが目玉公演として首都圏の音楽ファンも一目置いていることを実感した。②ホールの公演や催し物のPRに携わって、びわ湖ホールへの親近感と身内感が強まった。
- 3) 今後の抱負：びわ湖ホールの良い公演をもっと多くの人に鑑賞してもらえるように、ホールの公演の宣伝に努めていきたい。

2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要

◎劇場サポーター舞台芸術基礎講座（全サポーター対象）

【第1回 基礎講座】

タイトル：25周年だよ！歴代館長 全員集合！

内 容：今につながるびわ湖ホールの開館からの歩みを辿る。

講 師：上原元館長、井上元館長、山中相談役、村田館長

日 時：令和5年9月16日（土）14：00～15：30

場 所：びわ湖ホール大ホール ホワイエ

◎劇場サポーター舞台芸術特別講座（全サポーター対象）

【第1回 特別講座】

講 師：大川 修司（びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者）

内 容：質疑応答と合唱指導「琵琶湖周航の歌」

日 時：令和5年10月28日（土）10：00～11：30

場 所：びわ湖ホール リハーサル室

【第2回 特別講座】

講 師：植松 さやか（作曲家・編曲家・ピアニスト）

ゲスト：栗原未和（びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー）

内 容：演奏、オペラ鑑賞、自身の活動についてのお話

日 時：令和6年2月17日（土）14：00～15：30

場 所：びわ湖ホール リハーサル室



◎劇場サポーター オペラ稽古見学会、関連企画講座、音楽教室見学会（全サポーター対象）

●びわ湖ホール声楽アンサンブル 演技研修 見学会

出演者：大川修司（指揮）、中村敬一（演出）、川口真由子（ピアノ）、びわ湖ホール声楽アンサンブル

プログラム：

〈前半〉

『ヘンゼルとグレーテル』より抜粋（ドイツ語/日本語字幕）

『愛の妙薬』より抜粋（イタリア語上演/日本語字幕）

『こうもり』より抜粋（日本語）

〈後半〉

『スペインの時』全幕（フランス語上演/日本語字幕）

日 時：令和5年6月22日（木）14：00開演～16：30頃終演

場 所：びわ湖ホール リハーサル室

●『フィガロの結婚』 稽古（KHP）見学会

日 時：令和5年9月29日（金）14：00～（1時間30分程度）

場 所：びわ湖ホール 中ホール（2階席からの見学）

●『天国と地獄』 稽古（KHP）見学会

日 時：令和5年12月17日（日）14：00～（1時間30分程度）

場 所：びわ湖ホール 中ホール（2階席からの見学）

◎公演関連講座（直近4期のサポーター対象）

びわ湖ホールで開催する主催公演をより一層お楽しみいただくとともに、周囲の方々へ積極的に公演のPRをしていただけるよう公演関連講座研修を実施。

●オペラ講座『ばらの騎士』（初級編・全2回）

令和6年1月7日（日）、1月21日（日）

●岡田暁生『ばらの騎士』セミナー（上級編・全2回）

令和6年1月13日（土）、1月27日（土）

●オペラ・バレエ・古典芸能～初心者向け・トライアングル講座 vol.5（全3回）

令和5年4月23日（日）、8月27日（日）、令和6年2月12日（月・休）

◎劇場サポーターメーリングリスト

びわ湖ホールからの事務連絡や自主交流会の案内、公演や講座の感想などの発信に用いています。

2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要

1. 定例会の開催

オリエンテーション	令和5年3月26日（日）	（自主交流会紹介／年間計画紹介 ほか）
第1回	令和5年5月14日（日）	28期新サポーターの方々を歓迎する会
第2回	令和5年7月16日（日）	びわ湖ホール検定、聴いて楽しむびわ湖ホール公演
第3回	令和5年10月29日（日）	聴楽観「オペレッタの楽しみ」講座 講師：佐々木浩一郎氏（3期）
第4回	令和5年12月10日（日）	「名曲聴き比べ」：ブラームス「交響曲第4番」 講師：西口直克（9期）
第5回	令和6年2月11日（日）	オペラ『ばらの騎士』講座 講師：岡部正宏氏（27期）

2. サポーター通信「Harmonia（ハルモニア）」の発行

- （1）4月 第50号（2023年春号）
- （2）10月 第51号（2023年秋号）
声楽アンサンブル新メンバー、28期サポーター自己紹介ほか

※サポーター通信「Harmonia(ハルモニア)」…

サポーター同士のコミュニケーションを図り、びわ湖ホールをはじめとする、あらゆる舞台芸術の面白さを外部に向けて発信することを目的とした「サポーター通信」。1998年10月から1999年6月までに創刊。準備号として3号を、2000年には名称を“Harmonia”（ハルモニア）として創刊号～第49号を発行しています。

3. サポーターズ・サロンの実施

- （1）令和5年5月14日（日） 第1回 「28期新サポーターの方々を歓迎する会」
- （2）令和5年9月16日（土） 第2回 「びわ湖ホール歴代館長とおしゃべりしよう！」
- （3）令和5年12月17日（日） 第3回 「オペラについておしゃべりしよう！」
- （4）令和6年3月10日（日） 第4回 「びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーとおしゃべりしよう！」



2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱



1. 趣 旨

地域や職場、友人など、人のネットワークを活かして、びわ湖ホールとそこで上演される舞台芸術を生活に身近なものと感じる愛好者の輪を広げることを目的に、「びわ湖ホール劇場サポーター」（以下「劇場サポーター」という）を設置します。

2. 劇場サポーターの役割

- 舞台芸術についての情報およびびわ湖ホールで開催する公演の情報を、口コミやチラシ配布などにより地域や職場の方、ご友人に広く伝え、観客創造につなげていただきます。
- 舞台芸術に関する講座や研修を受講し、知識を広め関心を高めていただきます。
- 勉強会や交流会などの自主活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただきます。
- 公演運営のお手伝いをお願いすることがあります。

3. 劇場サポーターの定員と登録

公募により選ばれた方を劇場サポーターとして登録し、定員は概ね120人、登録期間は1年間とします。ただし、1年ごとに継続の意思確認を行いますので、希望される場合は更新することができます。継続の意思確認は2月～3月頃に行います。

4. 2023年度活動

- (1) 舞台芸術情報やびわ湖ホールにおける公演情報の地域や職場、友人等への広報
 - ・ 口コミやチラシ配布などによるPR活動
- (2) 舞台芸術に関する研修の受講
 - ・ 基礎講座
 - ・ 特別講座
 - ・ 公演関連講座
- (3) 自主活動
 - ・ 交流会などの開催
 - ・ 劇場サポーター通信（Harmonia）の発行



2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳



【期 別】

1期	1名
3期	4名
5期	1名
6期	2名
7期	2名
8期	2名
9期	4名
10期	2名
11期	2名
12期	2名
13期	4名
14期	2名
15期	3名
16期	4名
17期	2名
18期	6名
19期	1名
20期	2名
21期	6名
22期	6名
23期	14名
24期	7名
25期	10名
26期	9名
27期	13名
28期	5名

【居住地】

● 滋 賀 県	
大 津 市	61名
草 津 市	6名
栗 東 市	1名
守 山 市	4名
東近江市	2名
米 原 市	1名
長 浜 市	1名
湖 南 市	1名
近江八幡市	3名
蒲 生 郡	1名
● 京 都 府	23名
● 大 阪 府	6名
● 兵 庫 県	2名
● 奈 良 県	3名
● 愛 知 県	1名

計 116 名



2023年度「びわ湖ホール劇場サポーター」活動の様子



令和5年9月16日 第1回基礎講座の様子



令和5年10月28日 第1回特別講座の様子



令和6年2月17日 第2回特別講座の様子



令和5年6月22日 びわ湖ホール声楽アンサンブル演技研修見学会の様子



令和5年10月29日 第3回定例会の様子



令和6年3月11日 第4回サポーターズ・サロンの様子

